

所 属	県土整備部 道路維持課		
担当(係)名	市町村道担当	内線	3713

<社会資本の維持管理の強化>

(仮称) 社会資本メンテナンスプランの策定

1 事業費	【財源内訳】	【主な使途】
30,000	国庫 16,500	委託料 30,000
(前年度 0)	一財 13,500	(プラン策定業務)

2 背景・現状

現在、県が管理する15m以上の橋梁や改良済道路の舗装については、ライフサイクルコストの低減を図る予防保全的な維持管理を実施している。

しかし、高度経済成長期を中心に大量に整備された道路施設は、今後、急激に高齢化するため、これらの安全確保が重要な課題となっている。

3 事業目的

今後の補修事業の増加に的確に対応し、安全で安心な県管理道路を継続的に確保するため、新たな道路施設維持管理計画を策定する。

4 事業概要

新たな道路施設の維持管理手法として、従来のライフサイクルコストを最小化するアセットマネジメントに加えて、問題が発生した場合の社会的影響の最小化を図る維持管理計画「(仮称)社会資本メンテナンスプラン」を策定する。

計画の策定にあたっては、学識者や市町村代表をメンバーとする「(仮称)社会資本メンテナンスプラン検討委員会」を平成22年8月に設置し、社会的影響の評価の導入方法、社会福祉や地域づくりのあり方など幅広い視点から検討を実施している。

平成22年度は、社会的影響の評価手法等、計画の基本的な考え方について検討を行った。

平成23年度は、これに基づき県内全域の重要な道路施設について具体的に評価を行い、新たなプランを策定する。

	平成22年度	平成23年度
社会資本メンテナンスプラン検討委員会		
計画の基本的な考え方の検討 (社会的影響の評価手法等)		
重要な道路施設の具体的な評価および メンテナンスプランの策定		

(款) 8 土木費 (項) 2 道路橋りょう費 (目) (1) 道路総務費
(明細書事業名) ○道路諸費
道路諸費